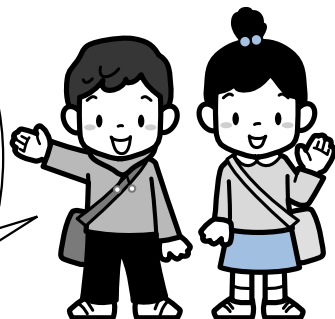


南区でおいしい水ができるまで

南区の中でどうやって水ができるのか、見てみよう！



豊平峡・定山溪 おいしい水のもとが集まります



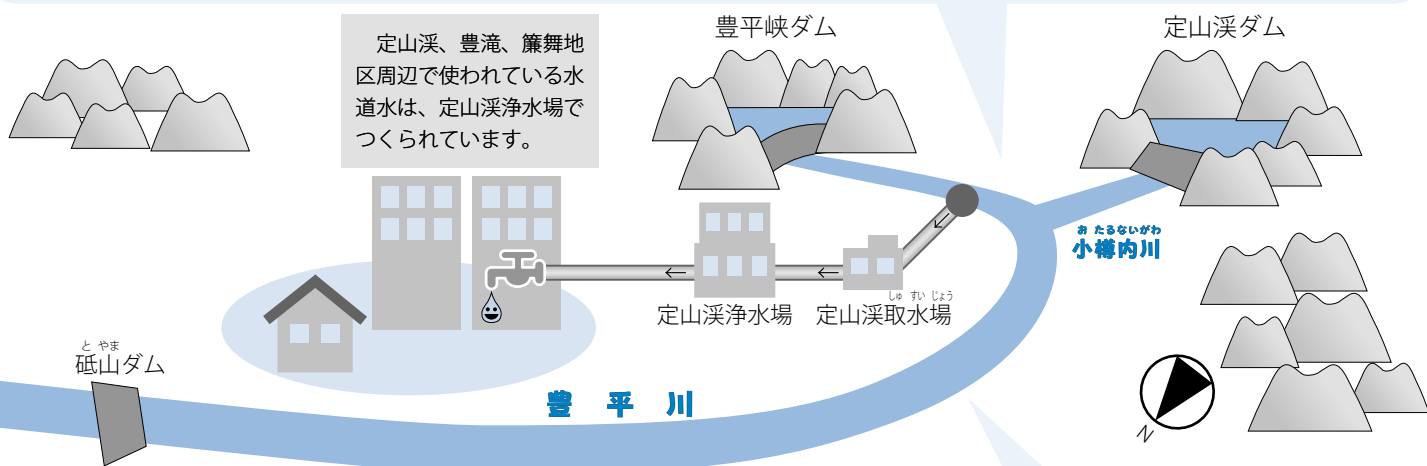
▲南区には豊平峡ダム、定山溪ダムといった大きなダムが2つあります
(写真は定山溪ダム)

雨や雪が降ると、山や森に水が染み込み、その後水はゆっくりと地面にわき出て川に流れます。

こうして山や森から川に流れ、ダムに蓄えられた水にはカルシウムなどのミネラルが適度に含まれており、水道水をおいしくしています。

区内の川や大きなダムは自然に恵まれた場所にあり、おいしい水道水のもとになる、ミネラルを含んだ水が集まります。

緑が豊かな場所にあるダムや川に、おいしい水のもとが集まるんだね。



豊平川の上流 川の水がきれいかわ調べています



▲豊平川のほか南区内の3つの川でも水を採って、濁りなどがひどくないかを調べています

豊平川の上流では、水道水のもとになる川の水を採り、濁りがひどくないか、においがしないかを毎日調べています。

このほか、砥山ダムなどでは機械で水の濁りやにおいを休みなく検査しています。濁りなどがひどい場合は、自動的に浄水場へ知らせが入り、浄水場では水をきれいにする準備を早めに行っています。

また、白川浄水場内にある水質試験所でも、川の水の濁りなどの原因を調べています。

きれいでおいしい水をつくるために、川の水を調べているのね。

